

KWU

図書館だより

# Library News

No.16 2012



VIEILLES CHANSONS  
ET RONDES

特集 図書館を歩こう♪

Kyoto Women's University



## 電子図書館への抵抗要因について

図書館長 御領 謙

# Contents

- 図書館長だより
  - 電子図書館への抵抗要因について  
図書館長 御領 謙
- 特集 図書館を歩こう♪
  - ◇ 導入篇
  - ◇ 本編
  - ◇ 番外編
- 図書館ホームページを活用しよう
- 図書館資料展観
- 資料の利用について

### 表紙について

フランス19世紀末を代表する子どもの本の挿絵画家、ルイ・モーリス・ブーテ・ド・モンベルの絵本です。素材でかわいらしい絵本は人気を呼び、イギリス・ドイツ・アメリカなどでも出版されました。

書名：Vieilles chansons et rondes  
古いシャンソンと Rondes  
請求記号：767.7/V68



一昨年と昨年に続きこのコラム3回目となります。2010年に「Kindleに思う」、2011年には「Kindleと『アテネの学堂』」と題した駄文を草しました。今回も話題を変えずに電子化の問題について考えます。最初のコラム執筆のあと、2010年はe-book元年と呼ばれていることを知りました。そしてe-journalを常用し、Kindleに惚れこんだ身としては、大いに期待を抱いて過ごしたこの2、3年でした。大学図書館に備えるべき種類の電子書籍が爆発的に増え、大学図書館でそれらを積極的に購入し、利用に供することの出来る時代が少しは見えてくるかと期待していました。また英語圏でKindleなどでベストセラーや専門書が安く手軽に読めるのと同じように、我が国でもそのような時代が近いと実感できるようになるかと期待していました。現状はどうでしょうか。

京都女子大学図書館の現状に関して、まず電子ジャーナルについていえば、分野にもよりますが比較的良好な環境にあります。筆者の分野であれば、大学が契約しているPsycINFO、PsycARTICLESが利用できますし、世界中に散らばるオープンアクセスの文献をPubMedやGoogle Scholarに頼って検索をかければ、時間と場所を問わず、必要な文献の多くを即座に手に入れることができます。欲しい論文のPDFをダウンロードし、文献管理ソフトに取り込み、クラウド経由でいつでもどこにいても文献を読み、引用し、論文用の引用文献リストを作成できます。多くの方々がすでにこの便利さの恩恵にあずかっておられることとは思いますが、本学における利用率が意外に低いと感じる面もあります。教職員および学生諸君の利用がさらに進み、一層の充実を望む声が高まることを期待しています。

一方、電子書籍に関してはeBook Collection (EBSCOhost) [旧 NetLibrary]を中心に徐々に購入が進んでいますが、印刷媒体の書籍に比べるとまだ無に等しい状態です。これについては、図書館では電子書籍の充実を目指している最中ではありますが、現在のところまだまだ不十分な状態です。日本語の専門書に関していえば、みるべき電子書籍の数は限られているので、今のところ大勢に影響はありません。しかし、洋書に関していえば、優れた電子書籍の数が急速に増大しています。それらは自己負担さえすれば、ほとんどワンクリックで購入し即座に利用できる状況にあります。その便宜をユーザーに提供できないでいる日本中の図書館の現状は、極めて遅れを取っているといわざるを得ないでしょう。

電子ジャーナルや電子書籍の便利さに味をしめた人間にとっては、図書館の電子化の進展は大変望ましい方向に思えます。しかし、身の回りの現状やここ数年の国内の動きを見ていると、それを望んでいる層は決して厚くはないように感じられます。出版業界や書籍の流通業界に詳しいある人の意見では、電子化のあまりにも急激な進展は、これ

らの業界の経済的死活問題にまで発展する恐れや、日本の出版文化を弱体化させる恐れがあり、決して好ましいことではない、従って足元を固めながら徐々に進めて行くしかないであろう、ということでした。きっとそうなのでしょう。

また、このような経済的、社会的な立場からの躊躇や抵抗とは別に、物としての書籍や文書に対する愛着、こだわり、嗜癖があるように思えます。インクの香も新しい新刊書を手にする喜び、厚い本の最後のページをめくって読了したときの達成感、探し求めた本を図書館の書架に発見したときの喜び、あるいは自分が作成した報告書や論文や本が印刷されて手元に届いたときの充実感などなど。情緒的、感性的な紙への、紙の文化への固執傾向が見られます。

さらに電子化情報より紙の本や書類の方がやはり便利だ、という声もあります。何冊もの本や書類を参照しながら議論をし、あるいは論文を書くときにはやはり身の回りにそれらを並べて置く方が必要な情報を見つけやすい、とよくいわれます。あるいはOPACなどで本を検索するより、開架書架の間を逍遙して本を探すが、真に必要な本を見つけやすいし、目的の本以外に関連する本が見つかったり、思いもかけない発見があったりする、という意見もあります。つまり知的活動に文字言語を利用する形態としては、紙媒体の方が有利であるという思い込みがあるように見受けられます。

以上電子化への抵抗要因として、社会的経済的要因、紙文化への感性的固執傾向、知的活動における紙媒体の優位性信仰の三つを挙げました。第一、第二の要因については、これが日本の現実であり、また私たちの好みの問題でもありますから、特に私のいうべき言葉はありません。今後徐々に良質な電子書籍の数が増え、またそれらを好む人々が増えて行くという形で変化が起こってくるのでしょう。紙の本を好む人々を否定する必要は全くないのです。第三の問題につきましては、私には人間の視覚的な情報処理過程の研究を専門とする認知心理学者としての意見があります。詳細は別の機会に譲らざるを得ませんが、ここでは自信をもって反論しうる点が多いとだけ申しておきましょう。

最後になりますが、今回も含め電子化の方向を支持し、図書館の電子化を期待する論調のコラムを書いてきました。しかし前にも書きましたが私は紙の書籍の不必要性まで主張するものでは決してありません。ただ、ここ数年の自らの電子情報利用の体験と世界の動向からみて、これからの図書館は常に最新の電子図書館機能を備えておくべきであると確信しています。そして教職員も学生諸君も、その有効な活用方法を出来るだけ早く身に付けてほしいと思います。その支援をすることも図書館の大事な役割であると思っています。

# WALK TO LIBRARY 図書館を歩こう♪

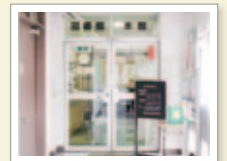
本学の図書館を知ってもらい、利用してもらえるよう、図書館を歩きながらご案内します。「導入編」、「本編（本館・雑誌室・分館）」、「番外編」の3本立て。それでは「導入編」のはじまりはじまり。

## 導入編

日本の女子大学では  
トップクラスの蔵書数を  
誇っています。

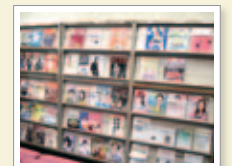
### 本館

場所／E校舎 5階・4階・M3階・M2階・2階  
主な所蔵資料／社会科学・自然科学・芸術



### 雑誌室

場所／E校舎 地下1階  
主な所蔵資料／学術雑誌・新聞



### 分館

場所／J校舎 1階・地下1階  
主な所蔵資料／文学・歴史



次のページから  
本編です

# START

図書館を歩こう♪

これがE校舎の入口です。



掲示板では、図書館からのお知らせを掲示しています。



入ってすぐ右手にはブックポストがあります。閉館時の本の返却はコチラまで。

図書館本館入口は5階です。雑誌室入口は地下1階です。

エレベーターの左側にご注目!

エレベーターを待ちながら...



過去の展覧の冊子などは、お持ち帰り自由。



図書館からのお知らせを流しています。



では、本館を目指してエレベーターが階段で5階へ行ってみましょう。

## 5階

エレベーターから降りて

いざ本館へ

左手は本館入口

右手は共同学習室



ロッカーの利用はカウンターに申し出てください。



「読書さんぽ」の参加者の本の感想を紹介しています。面白い本に出会えるかも♪



発表の練習や、グループ学習に最適です。利用希望はカウンターまで。

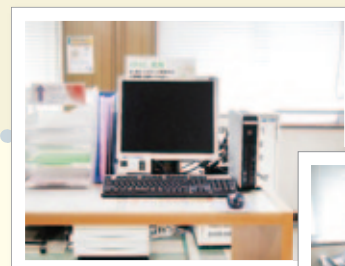


E校舎5階からの眺め!

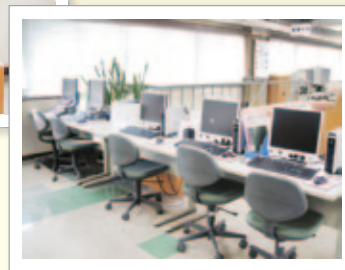


貸出・返却のほか、本の相談何でもどうぞ。

カウンターの様子

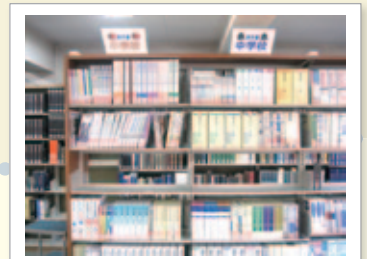


探している本はOPACで検索。



石附文庫コーナー教育学関係の本が配架されています。

えほんコーナー



小学校・中学校・高校の教科書。



5階

ソファがあり、くつろげます。



ダ・ヴィンチ、アエラ、新聞も置いています。

階段を下りて4階へ

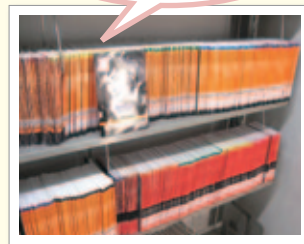


M2階

旅行書コーナー



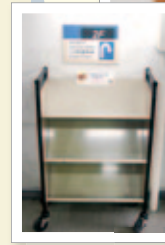
英語をやさしくたくさん読んで学べる多読本が揃っています。



各階にOPAC検索ができるパソコンがあります。



これはブックトラックです。戻す場所が分からない本は、各階のブックトラックへ。



2階



楽譜もあります。



階段は、書架の手前と奥の2ヶ所にあります。次はM2階です。

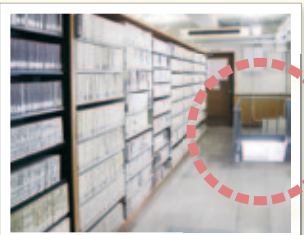


M3階

ここにも文庫本がいっぱい。

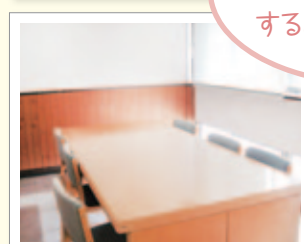
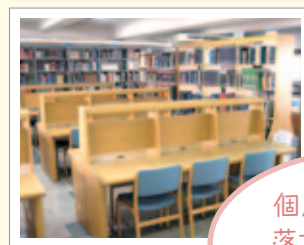
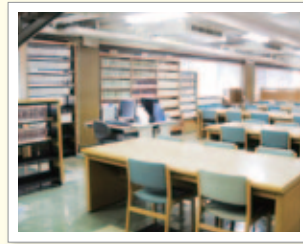


この階段を下りてM3階へ行ってみましょう。



4階

個人机もあるので落ち着いて勉強をすることができます。

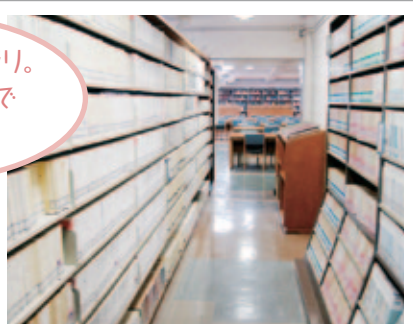


4階の共同学習室は、少人数向き。利用希望はカウンターまで。

視聴覚ブース

音楽資料コーナー 先生のおススメです!

文庫・新書がズラリ。目指せ、1年間で100冊読破!



ふりだしに戻る

本館の出入り口は5階だけです。



# 本編

## 雑誌室



入口から入らず、  
掲示板の左側へ  
回り込んで  
みると…。

ここでも  
図書館の  
お知らせを  
流しています。



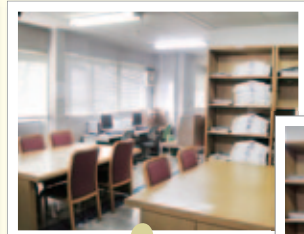
階段を発見!  
ここから地下に下りると  
雑誌室に行けます。



各館に1台ずつある、  
マイクロフィルム等  
を見るための  
マイクロリーダー。  
ご利用の際は  
カウンターまで。

次は分館を  
ご案内します。

京都女子学園  
コーナー



新聞のバックナンバーが  
置いてあります。



この奥に進んで  
みましょう。



雑誌室の入口です。



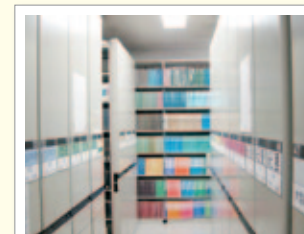
カウンターの  
様子



新聞やファッション誌等も置いています。  
ソファーでくつろげる人気スポットです。



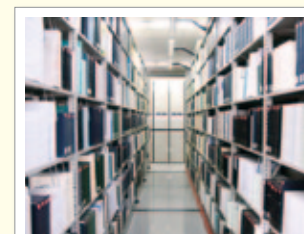
過去のライブラリーニュース  
やポケットカレンダー等を  
置いています。  
ご自由にお取りください。



こちらの書架は開けたい棚の  
ボタンを押すと開く電動書架。



開ける前に他の棚に  
人がいないか確認を!



# 本編

## 分館



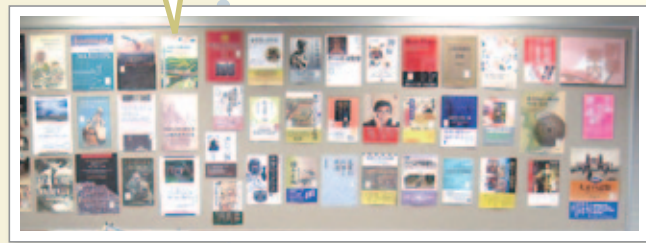
E校舎からJ校舎へ移動しましょう。歩いて10分くらいです。

J校舎へ到着!



入口に入って左手に分館の入口があります。

新着図書のカバーを貼りだしています。見ていると読んでみたくなる物ばかりです。



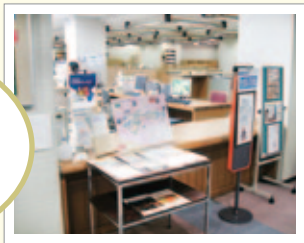
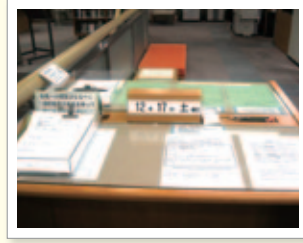
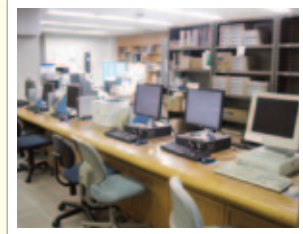
### 1階



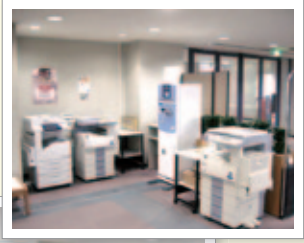
これが分館の入口です。



入口の右手にはブックポストがあります。閉館時の本の返却はコチラまで。



カウンターの様子



この奥の右側にお手洗があります。



視聴覚ブース



視聴覚資料コーナー

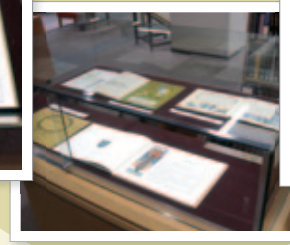
展示ケースで図書資料の展示を行っています。



展示は不定期で入れ替わります。



絵本の展示も行いました

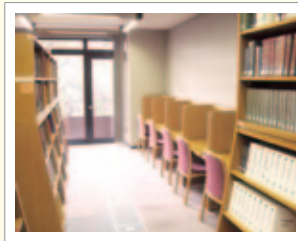


参考図書  
コーナー

### 引き続き 1階のご案内



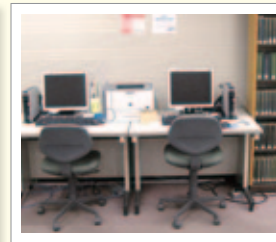
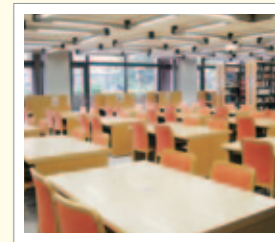
大きな窓から見える  
景色は、気分転換  
するのにぴったり。



個人机がたくさん  
あります。



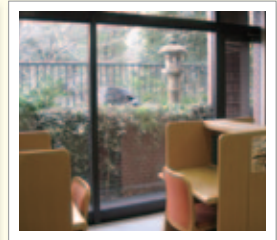
### 地下 1階



新聞と雑誌も置いています。



棚の上の方にある本は、  
踏み台を使って取ることが  
出来ます。



本棚の横にも  
イスがあるので  
くつろいで本を  
読めます。



この左奥にお手洗があります。



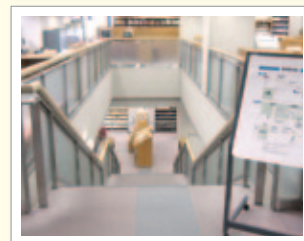
戻す場所が分からない  
本はブックトラックへ。

電動書架です。  
見たい棚には  
ボタンを押して  
電気を付けてから  
入りましょう。



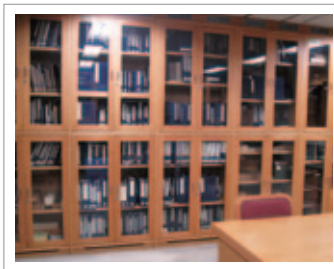
### まだまだ分館を ご案内します。

それでは、この階段を下りて  
地下1階へ行ってみましょう。



## 貴重書庫

- 貴重書庫には、本学が所蔵している歴史的・文化的に重要な資料が保管されています。
- 普段、学生の皆さんが利用することは出来ませんが、これらの資料の一部を錦華殿で一般公開(展観)しています。
- 展観の詳細は、図書館ホームページでお知らせします。是非お越しください。
- 平成23年度の展観については、16ページをご覧ください。



「図書館を歩こう♪」はいかがでしたか？  
次は実際に足を運んで、図書館を  
たくさん利用してください。

お待ちしております!!

図書館を歩こう♪  
番外編



## 番外編

あまり知られていない図書館の  
得する情報をお教えします。

### 新聞は図書館で!

本館・分館・雑誌室にそれぞれ新聞を  
置いています。是非ご利用ください。



分館地下1階  
の様子

### 英語の多読にチャレンジ

多読とは…

辞書を引かず、分からない単語は読み飛ばして、代わりに多くの本を読むこと。



本編でも紹介した多読本。  
レベル毎に分かれているため無理なく楽しく英語を身に付けることができます。  
多読を始めてみませんか?

### 児童書や旅行書もいっぱいあります

児童書は  
本館M3階。



旅行書は  
本館M2階に  
あります。

### えほんはぞくぞく増加中!



新着えほん、  
大型えほん、  
しかけえほんの  
コーナーも  
あります。

本館5階に  
あります。

### 無線LAN使えます

自分のノートパソコンを  
持ち込んで、レポートの作  
成や調べ物が出来ます。

電源が必要な  
方にはカウンターで  
延長コードの貸出を  
行っています。

利用可能場所  
本館 5階、4階  
分館 1階



## ● 図書館ホームページを活用しよう ●

図書館のホームページは“もう一つの図書館”です。パソコン上から図書館のいろいろな情報を得られるだけでなく、電子ジャーナル(雑誌)や電子ブック(本)の両方を見ることができます。

今回は図書館ホームページから利用できるサービスを紹介します。

### ① 図書館からのお知らせ

最新のお知らせを掲載します。展覧の日程や新しいデータベース・電子ブックについてもここでお知らせします。

臨時閉館の場合は、こちらに掲載します。

### ② 図書館カレンダーで開館日を確認

開館日、開館時間を確認できます。

### ③ 蔵書検索(OPAC)から資料を探そう

図書館の膨大な図書資料の情報を検索することができます。

資料名・著作者・キーワードなどから、資料の配架場所・貸出状況・請求記号を調べることができます。

### ④ データベース・電子ジャーナル・電子ブックを活用しよう

学術雑誌、学会誌などの文献記事や判例、新聞記事、事・辞典などがインターネット上で閲覧できます。

### ⑤ 「My Library」から、自分の貸出状況を確認できます

「My Library」は本学専任教職員・本学学生限定のWebサービスです。

借りている本・予約している本の確認や、借りている本の貸出期間延長、貸出履歴の一覧を見ることができます。

返却忘れの図書がないか確認できるので便利です。

まだまだ他にもホームページからできることがいっぱいあります。

まずは、図書館ホームページへアクセスしてみてください!

### 京都女子大学図書館ホームページ

〈パソコン用〉

<http://www.kyoto-wu.ac.jp/library/index.htm>

〈携帯電話用〉

<http://lib.kyoto-wu.ac.jp/mobile/>



# 図書館資料展観

図書館では本学所蔵の貴重書等を公開するために、毎年「図書館資料展観」を実施しています。平成23年度は展観を2回実施し、来場者へは図書館作成の展観図録を配布しました。いずれの展観も図書館の蔵書を多数展示しました。学内だけでなく、学外からもたくさんの方にお越し頂きました。

## 第11回 図書館資料特別展観

### 「ラファエル前派の流れと日本 ―本学所蔵の貴重書を通して見る―」

〈期間：平成23年11月3日～11月25日／場所：錦華殿地階展示室〉

19世紀中葉に生まれたラファエル前派の動向、およびラファエル前派が与えた日本への影響に関する本学所蔵の貴重書等を展示しました。

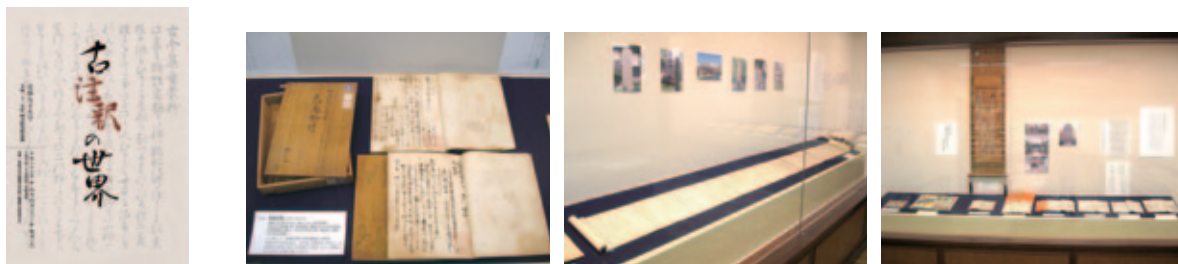


## 平成23年度 図書館資料展観

### 「古注釈の世界」

〈期間：平成23年12月6日～12月17日／場所：錦華殿地階展示室〉

日本の古典作品等について中近世に作成された様々な注釈書、例えば『源氏物語』の注釈書『光源氏物語抄（紫明抄）』等の貴重書を展示しました。



## 平成24年度 予告

### テーマ「長明と清盛」

第12回図書館資料特別展観として、鴨長明と平清盛に関する資料の展示を予定しています。今年は、『方丈記』が書かれてちょうど800年の年にあたります。また、今年の大河ドラマの主人公は平清盛です。「いと思ひの外なりし事なり」と『方丈記』に記される福原遷都を強行した清盛は、その翌年に病没しますが、その時、長明は20代後半。長明は、下鴨神社の禰宜の次男として生まれ、清盛は、六波羅と西大路八条に邸宅を構えました。時間と空間とを微妙に共有したと言うべき、この二人の人物を取り上げ、関係する図書館資料を展示する予定です。

日程等は、図書館のホームページや掲示板でお知らせします。是非、友達やご家族の方と一緒に見に来てください。



「平清盛怪異を見る圖」／歌川広重 画

## 資料の利用について

### 貸出

借りたい図書と、学生証または閲覧証をカウンターに提出し、貸出手续を受けてください。

#### ◆通常貸出

	貸出冊数(本館・分館合わせて)	貸出期間
大学生	10冊以内	2週間(14日)
科目等履修生(院・大)・大学研修員	10冊以内	2週間(14日)
大学院生・大学院研修員・大学院研修者	15冊以内	1ヶ月(30日)
教職員	20冊以内	2ヶ月(60日)

### 返却

1. カウンターに返却する → 返却図書は、貸出手続きをした館のカウンターへ。
2. ブックポストに返却する → 図書館閉館中に返却する場合は、貸出手続きをした館の「ブックポスト」が利用できます。

※本館・雑誌室→E校舎1階図書館玄関右側

※分館→J校舎1階図書館入り口

※延滞している図書は、ブックポストに返却せず、カウンターに直接返却してください。

●返却期限に遅れると、遅れた日数分、貸出停止になります。

●本館・分館いずれかで貸出停止となっている間は、他の館でも借りることはできません。



KWU Library News 発行／京都女子大学図書館

〒605-8501 京都市東山区今熊野北白吉町35番地

TEL: 本館 075-531-7070／分館 075-531-9010／雑誌室 075-531-7069

<http://www.kyoto-wu.ac.jp/library/index.htm>

平成24年3月発行